

# お知らせ

## ◆第9回遠藤周作学会全国大会 研究発表・講演のお知らせ

日時 9月20日(土)  
13時40分～17時50分  
会場 白百合女子大学(仙川駅徒歩10分)1号館4階1401教室

研究発表  
13時40分～16時30分(①)「中間小説誌」の時代における遠藤周作②「日本の沼の中で―かくれ切支丹考―」に見る遠藤のキリシタン理解③『女』に込められた永遠への眼差し」

講演会  
16時40分～17時40分 演題「遠藤さんをめぐるひよこの思い出」講師 スール松井千恵

懇親会  
18時(11号館カフェテリア) 会費3000円

問合せ 遠藤周作学会事務局  
☎086-2271-5665  
✉yamane@post.ndsu.ac.jp

※研究発表、講演会の聴講は無料で、途中参加も可能。懇親会への参加希望者は、8月中にご連絡ください。

## ◆江東文学サロン・遠藤周作の世界 「作家から見た遠藤周作」

平成26年度の東京江東区文化センターの講座(全6回)です。6月から始まりましたが、残る2回は9月に開催されます(これまでの講師は加賀乙彦、斎藤由香、加藤宗哉、富岡幸一郎の各氏)。  
9月7日(日)

今井真理「遠藤周作のエッセイ」  
9月28日(日)

加藤宗哉「遠藤周作ワールドの広さ」  
時間 14時～15時30分  
会場 江東文化センター(地下鉄東西線「東陽町駅」1番出口から徒歩5分)  
問合せ 江東文化センター(萩原)  
☎03-3644-8111

## ◆遠藤周作の新作(新書) 『面白可笑しくこの世を渡れ』

河出書房新社 760円+税  
▽行く先々の珍騒動、笑いの36編。

## ◆遠藤周作・関連図書 「肌色」の憂鬱

—— 近代日本の人種体験 ——  
真嶋亜有著 中公叢書  
クレヨンや色鉛筆から「はだいろ」が消えて久しいが、本書は「肌の色を問うことは日本の近代を問うこと」という、新鋭の初めての文化論。比較文化を専門とする著者はこの中で、「西洋と日本」に苦闘した若き遠藤周作を取りあげ、その人生を簡明に記しながら、『アデンまで』や『黄色い人』に込められた遠藤文学のテーマを浮かび上がらせます。新鮮な観点と、静かな文章が目を見事に惹きま

す。(中央公論新社・2300円+税)

## ◆講座「遠藤周作『イエスの生涯』『死海のほとり』を読む」

日時 10月8日、11月12日、12月10日(水) 14時45分～16時15分  
場所 ノートルダム清心女子大学(岡山駅西口徒歩10分)  
講師 山根道公  
受講料 3回2100円(学生半額)  
申込み 生涯学習センター事務局

☎086-2521-7045  
☎086-2521-7044  
✉opc@post.ndsu.ac.jp

内容 実感をもって理解できるイエス像がどのように描かれているか、読み解きます。

## ◆遠藤文学講座のお知らせ 新講座『侍』を読む

日時 10月11日、11月15日、12月13日(土) 15時20分～16時50分  
(風編集室のHPか電話等でご確認ください)

場所 幼きイエス会(四谷駅麹町口前)  
☎03-3261-0825

講師 山根道公  
受講料 1回2000円(学生半額)  
申込み 風編集室  
☎086-2271-5665  
✉kazehensyusiu@gmail.com

内容 『侍』を、史実との関係、自伝的要素、文体の特徴、日本人とキリスト教等の問題を考察しながら読み解きます。

## ◆NHK文化センター広島講座「遠藤周作『沈黙』を読むパート2」

日時 11月1日、12月20日、2月7日(土) 15時30分～17時30分  
場所 NHK文化センター広島(八丁堀駅徒歩7分)

講師 山根道公  
受講料 3回7500円(税別)  
申込み NHK文化センター広島  
☎082-2442-1151  
☎082-2442-4846  
✉kashiwagi-kek@nhkcui.co.jp

内容 『沈黙』を聖書との関係、歴史との関係で読み解き、海外での評価について触れます。

## ◆編集後記

▼巻頭は第14回「周作クラブ」総会のお知らせと、第18回「周作忌」のご案内です。ということば、遠藤周作先生が亡くなられて18年、「周作クラブ」が誕生して14年が経ったということです。「会報」は「周作クラブ」発足と同時に生まれ、以後年4回発行され56号の本号に至っています。

▼小生が編集長となったのは第6号からですが、よくぞ今日まで、三カ月一度ではありませんが、発行し続けてこられたものと感慨深いものがあります。出し続けてこられたのは、ひとえに、副編集長の金子コウさんの尽力と、編集スタッフの皆さんの協力によるものです。

▼その金子コウさんが、本号をもって副編集長の役を勇退されます。金子さんの思いは、6ページに掲載されており、すでにお読みいただいたかと思いますが、金子さん、本当にご苦労さまでした。

▼なお小生もこれを機に、そろそろ引退を思っております。もちろん会をやめるわけではありません。今後も出来る限りの協力はしていきますので、今後共会員の皆さんのご支援よろしくお願い致します。(颯)

## 「周作クラブ」第56号

2014年8月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■この号の編集者

岡田厚美、一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17

加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL080-1097-1979

FAX03-3421-1521

●次回の会報発行は11月の予定です。